

金浦地区防災計画 ダイジェスト版

令和4年7月1日
広報誌・号外保存版
金浦地区まちづくり
自治協議会防災部会

「金浦地区防災計画」策定にあたって

地域住民の立場に立った新たな自主防災活動の観点から、自主防災会単位で定期的実施している「防災研修や避難訓練」により地域防災力の向上を図り、『災害発生時に逃げ遅れゼロ』を目指した活動目標を具現化していくため、『金浦地区防災計画』を策定しました。これは、地域住民の皆様が災害時における行動指針となるものと確信しています。この計画をベースにして8地区自主防災会が主体となり、まち協他防災関係者と連携して地域の特性や災害リスク等を考慮しながらさらなる地域コミュニティの充実・強化を図り、自助、共助に基づく災害に強いまちづくりを進めていきましょう。

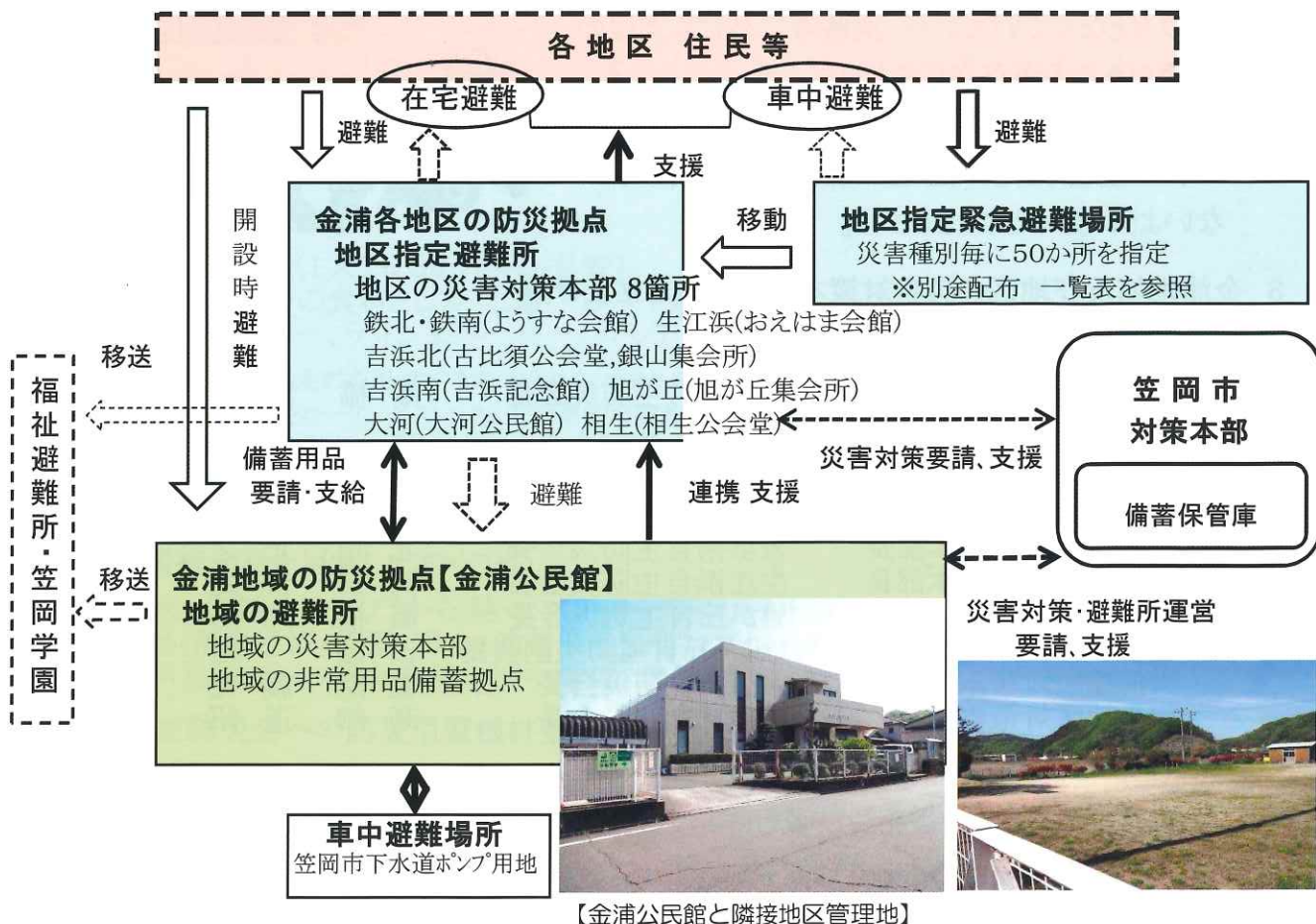
1 金浦地域における避難のスキーム

(1) 金浦地域及び各地区防災拠点の確保

災害発生時に地域としてまた各地区毎に住民を支援する必要性から、笠岡市の災害対策・避難所運営支援をはじめとして、非常用物品等の備蓄機能を備えた「地域防災拠点」を金浦公民館(代替避難所として金浦中学校を予定)に構築することとした。

また、自主防災会単位でも「地区災害対策本部」機能も構築し、下図に示すように地域防災拠点と連携して運営する体制としている。

(2) 防災拠点相互の運用関連図



2 災害時避難行動要支援者の把握と支援(笠岡市個別避難計画作成と活用)

(1) 避難行動要支援者の把握

高齢者や障害者など、災害時の避難行動や避難所などでの生活が困難な方(災害時避難行動要支援者)を把握し、日頃からの見守り活動等により顔の見える関係をつくっておくことが、活動目標である「逃げ遅れゼロ」を目指すために不可欠となります。

金浦地区では令和元年度から笠岡市と協働で把握し、必要の都度更新を行っており、現在の状況は次表のとおりです。

金浦地区災害時避難行動要支援者数

(令和4年4月現在)

地区別	人口	要支援者数(人)				備考
		市登録数	地区登録数	合計	人口割合	
金浦 鉄北	549	5	5	10	1.8%	※個人情報保護の必要から、地区別の対象者数のみを表示しています 
金浦 鉄南	561	2	14	16	2.9%	
生江 浜	1,201	20	21	41	3.4%	
吉 浜 北	598	6	4	10	1.7%	
吉 浜 南	438	5	17	22	5.0%	
大 河	200	4	6	10	5.0%	
旭 が 丘	844	5	7	12	1.4%	
相 生	185	1	5	6	3.2%	
地 区 計	4,576	48	79	127	2.8%	

なお、笠岡市の災害時避難行動要支援者名簿掲載者は、個別避難計画作成について民生委員等一定範囲内で個人情報開示の同意が得られた人のみとなっていますが、掲載者以外にも支援の要望がある人が存在します。

従って各町内会単位で支援要望者の把握を行い、自主防災会役員を通じて支援体制に漏れがないように努めることとします。



3 金浦地域及び地区の災害対策本部の構成と立上げ等

(1) 災害対策本部設置時の責任者の指定

金浦地域対策本部長	旭が丘自主防災会長	高 橋 邦 彦
金浦鉄北地区対策本部長	鉄北自主防災会長	原 英 二
金浦鉄南地区対策本部長	鉄南自主防災会長	伏 本 節 郎
吉浜北地区対策本部長	吉浜北自主防災会長	氷 上 俊 彦
吉浜南地区対策本部長	吉浜南自主防災会長	北 川 正 之 紀
生江浜地区対策本部長	生江浜自主防災会長	高 田 泰 紀
旭が丘地区対策本部長	旭が丘自主防災会長	高 橋 邦 彦
※但し地域対策本部設置時は旭が丘自主防災副会長		田 淵 進
大河地区対策本部長	大河自主防災会長	塩 飽 義 史
相生地区対策本部長	相生自主防災会長	高 細 道 昭

(2) 災害対策本部設置時期の考え方

震度5強以上の地震発生時及び平成30年7月西日本豪雨規模の降雨(笠岡市観測点での累計雨量363mm)時並びに被災地区の対策本部長から要請があった場合とします。

(3) 各地区自主防災会(災害時に対策本部を設置し活動するため)の主な責務

ア 平常時 = 災害に備えるための活動

- ・ 各地区防災会「規約」の金浦地区防災計画に沿った見直しと地域住民への周知
- ・ 既配布の「改正防災マップ」等に基づく安全点検(防災資機材点検を含む)実施
- ・ 要支援者の把握及び支援計画を含めた避難体制づくり
- ・ 計画的な避難訓練、防災研修等による防災知識の普及
- ・ 避難所運営に関するシミュレーション等

イ 災害時 = 人の命を守り、避難所での安心・安全を確保するための活動

- ・ 地域住民の安否確認と適切な避難誘導
- ・ 災害対策本部(避難所を含む)の開設と運営

4 笠岡市指定避難所及び指定緊急避難場所

(1) 金浦地域の笠岡市指定避難所

施設名	所在地	収容人数				災害の種別				
		校舎部	体育館	避難用地	合計	①地震	②津波	③土砂災害	④洪水	⑤高潮
金浦小学校	吉浜 2214-3	958	212	1,829	3,000	○	○	×	○	○
金浦中学校	吉浜 1830-2	1,398	345	9,958	11,701	○	○	×	○	○
金浦公民館	生江浜 2066	104	0	0	104	○	○	○	○	○
ようすな会館	金浦 1566-1	33	0	0	33	×	×	○	○	×
笠岡総合体育館	平成町 63-2	1,997	0	7,257	9,254	○	×	×	○	×

(2) 金浦地域の福祉避難所

施設名	所在地	収容人数	経営主体
障害者施設 笠岡学園	金浦 754-1	50	社会福祉法人 笠岡市社会福祉事業会

5 家庭における災害への備え ～ ”これだけは準備しておこう” ～

災害による被害をできるだけ少なくするためには、『自らの命は自らが守る』意識を持ち、一人一人が自分の身の安全を守ることです。

先ず災害に備え、家具等の転倒防止や置き方の工夫をするなど自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や津波などに遭遇したときの身の守り方を知っておくことが必要です。

また、身の安全を確保したうえで生き延びていくためには、水や食料などの備えをしておくことが必要となります。

※ 飲料・食料・生活必需品などの備蓄例

- ・ 飲料水は3日分(1人1日3リットルが目安)
- ・ 非常食は3日分の食料として、ご飯(アルファ米等)・乾パン・板チョコ等
- ・ トイレトペーパー、ティッシュペーパー、マッチ、ろうそく、カセットコンロ等

防災のために特別なものを用意するのではなく、できるだけ普通の生活のなかで

利用されている食品をローリングストックして効果的な備蓄に備えること

大規模災害時は、一週間分の備蓄が望ましいとされています。

飲料水とは別に、トイレを流すための生活用水が必要となるため、水道水を入れたポリタンクや風呂の水を張っておくなどの備えをしておくこと

※ 非常用持出品を用意しておくこと

- ・ 飲料水、食料品(カップ麺・缶詰・ビスケット・チョコレート等)
- ・ 貴重品(預金通帳・印鑑・現金・健康保険証等)
- ・ 救急用品(消毒液・絆創膏等)、懐中電灯、携帯ラジオ、衣類、タオル、新聞紙他



6 各地区自主防災会への防災用資機材整備状況

防災用資機材の地区別配備状況は、次表のとおりです。配備品の点検と機能確認を定期的に行い何時でも誰でも使用できるように整備しておくことが必要です。

また今回の地区防災計画により、金浦地域防災拠点を「金浦公民館」に設置しますが、これらに必要な防災資機材については、今年度以降整備していくことになります。

[参考]

地区別 防災資機材配備状況一覧表

令和4年4月現在

	数量 単位	金 浦 鉄 北	金 浦 鉄 南	吉 浜 北	吉 浜 南	生 江 浜	旭 が 丘	大 河	相 生	地 区 合 計	備 考
防災倉庫設置箇所	箇所	3	1	2	1	4	1	2	1	15	位置防災マップ参照
防災倉庫	基	3	2	3	1	5	3	4	2	23	
避難誘導用備品											
ハンディマイク	個	1	2	2	2	14	4	1	2	28	
ロープ(100m・30m)	巻	1	3	1	1	1		2	2	11	100m×8 30m×3
避難誘導棒	個					11				11	
救出作業用備品											
ヘルメット	個	8	13	27	10	30	15	10	11	124	
ヘッドライト	々々	8	12	27	9	26	12	3	5	102	
発電機	基	1	1	2	1	4	1	2	1	13	
蓄電池	個	1								2	
コードリール(20・30m)	巻	1	2	2	1	4	1	2	1	14	
ガソリン携行缶(20L)	個	1	1	2	1	3	1	2	1	12	
ソルハシ	々々	2		1			1			4	
バール	々々	2		1		4	1	2		10	
スコップ	々々	10	4	5	6	12	5	6	2	50	
ジャッキ	々々	5	2	4	2	7	2	4	2	28	
チェンソー	々々	1	2	1	1	1	1	2	2	11	
投光器(ハロゲン・LED)	々々	2	2	4	2	11	2	4		27	
のこぎり	々々		1		2		4			7	
なた	々々						2			2	
ハンマー	々々		1		1		1	1	1	5	
脚立	脚		1		1	1			1	4	
かけや	個					1	2	1		4	
クリッパー	々々				1		1		1	3	
救護用品											
強力ライト	個	4	5	2	4	9	5	4	3	36	
リヤカー	台	3	2	4	2	5	2	3	2	23	
担架(2つ折り・簡易型)	々々	2	2	2	2	5	2	3	2	20	
救急箱	個		1	2	2	1	4	1	2	13	
テント(大型・小型)	張	1	1	1	1	2	1	1	1	9	大型8 小型1
水防用品											
一輪車	台	5	2	2	2	6	2	4		23	
水中ポンプ	々々					2				2	
ブルーシート	枚	2	2	2	2	2	2	2		14	
土嚢袋	々々		190			600				790	
初期消火用品											
消火器	個	3	2			1				6	
バケツ	々々		3			3	1		1	8	
避難支援用品											
段ボールトレ	個	2	3				2			7	
毛布パック	枚	10	12	10	10	10	30	20	10	112	
給水タンク	個	4	4							8	
カセットコンロ	々々					2				2	

※ 防災倉庫設置箇所

- 金浦鉄北 金浦郵便局前・新川会館横・八幡神社参道 各1
- 金浦鉄南 ようすな会館庭 2
- 吉浜北 古比須公会堂 2 銀山公会堂
- 吉浜南 吉浜駐在所横
- 生江浜会館広場 2 岬線花壇 公民館東広場 生江浜団地 各1
- 旭が丘 旭が丘公園3
- 大河 消防1部機庫横 2 迫集会所 2
- 相生 相生公会堂横 2